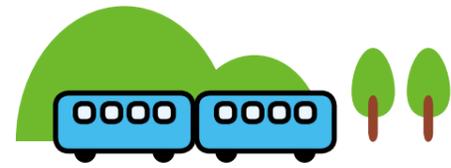


KTRに乗って 旅に出掛けてみませんか



知ってる？KTRのこと

KTR（北近畿タンゴ鉄道）は、宮福線（宮津～福知山間）と宮津線（西舞鶴～豊岡間）があり、総営業距離は114キロメートルです。



宮福線は大正12年に開業し、厳しい経営の変革を経て、昭和63年に現在の宮福線となりました。一方、宮津線は国鉄として昭和7年に全線開通しましたが、昭和56年に多額の赤字経営で廃止路線に選定。しかし、沿線の住民が一体となって「乗って残そう」という気運が高まり、宮福線の経営会社と統合し、平成2年に現在のKTRが設立されました。

現状は？

KTRは地域で守る鉄道として、京都府や兵庫県をはじめ、沿線の自治体や企業などが利用促進、財政支援を実施しています。しかしながら、平成23年度

の決算額は約7億8,000万円の赤字で、そのうち約5,600万円を市が支援しています。

KTRが誕生した20年前は鉄道の人気もあり、平成5年度には利用者数が約300万人を突破。しかし、車社会の発展や少子化のため年々減少傾向が続き、平成18年度には過去最低の194万人となりました。最近5年間の利用者数も約200万人前後で推移しています。高校生などの通学利用者が多く、KTRは生活の移動手段として重要な役割を果たしています。

KTRシンポジウムを開催

- 【日時】2月23日（土）14時10分～16時40分
- 【場所】大江町総合会館（福知山市・KTR大江駅前）
- 【内容】交通ジャーナリストの鈴木文彦さんによる基調講演のほかKTRの現状や利用促進の取り組みなどについての報告
- 【問い合わせ先】KTR利用促進協議会事務局（宮津市企画総務室内、☎0772・45・1601）

最新情報

今春、九州新幹線（800系）をデザインしたデザイナーの水戸岡鋭治さんの設計による観光列車「あかまつ・あおまつ」の運行が始まります。



▲車内のイメージ図

お得情報

- ◆KTRを利用する人は市営駐車場を1日上限300円で利用できます。
- ◆「サポーターズクラブ」に入会すると会員特別価格の切符販売、列車利用で貯まるポイントカードの進呈など特典があります。

KTRで待っています

KTRだからこそ見える素晴らしい風景や地域の宝物、人との交流…。タンゴ悠遊号、タンゴ浪漫号、快速大江山浪漫号、大江山悠遊号では、私たちアテンダントが観光案内を行います（自動音声の場合あり）。ぜひ、KTRに乗って一緒に旅に出掛けてみませんか？



◀ KTRアテンダント

▶ 詳しくは、企画政策課（☎66・1042）へ。

見どころ発見！！



【安寿足湯&健康サロン】日本海の海水を利用した足湯
◆駅前通り 由良診療所斜め前



【玄武洞公園】約160万年前に形成された玄武洞
◆兵庫県豊岡市赤石1353

市制施行70周年 記念事業をスタート

キーワードは 海と港

今年、舞鶴市が昭和18年の市制施行から70周年にあたる節目の年です。市では、「海・港を軸として市民が生み出す元気！まいづる」をテーマにさまざまな記念事業に取り組んでいきます。

イメージソング フレーズを募集



市制施行70周年記念事業検討市民会議から提言のあった「舞鶴をイメージできる歌の制作」を踏まえ、イメージソングを制作。皆さんから歌詞に使用するフレーズ（言葉）を募集します。

【募集内容】◆舞鶴の雰囲気や特徴が伝わるもの◆舞鶴への思い入れ◆夢や希望が感じられるもの

【応募規定】◆15文字程度◆オリジナルのもので、第三者の著作権を侵害しないこと

◆応募点数の制限はなし◆著作権は市に帰属◆ペンネームや匿名でも可

【その他】歌詞および楽曲は専門家の協力を得て制作。採用したフレーズは修正を加える場合あり

【応募方法】郵送（〒622518555）か持参、ファックス（62・5099）、電子メール（plan@post.city.maizuru.kyoto.jp）で企画政策課へ。2月18日（月）必着。

《ツイッターでも受け付け》「#まいづるのうた」とハッシュタグを付けてつぶやいてください。



「市制施行70周年記念」の名義使用を希望する人へ

今年中に開催する催しなどで「市制施行70周年記念」の名義使用を希望する人は、所定の用紙（企画政策課、西支所、加佐分室などに備え付け。市ホームページからダウンロード可）に必要事項を記入し、3月29日（金）までに同課へ持参してください。

▼詳しくは、企画政策課（☎66・1042）へ。

シリーズ 舞鶴の歩み ①

市の成り立ち

海とともに歩み発展してきた舞鶴。この地に人々が暮らし始めたのは、約1万2,000年前と考えられており、浦入遺跡群から出土した約5,300年前の丸木舟を使って広範囲で交易を行っていた様子がうかがえます。

その後、16世紀末に細川幽斎（藤孝）・忠興親子が田辺城を築いて以来、西地区は城下町として発展しました。

昭和13年（1938）、西地区は舞鶴市として、東地区は東舞鶴市としてそれぞれ市制を施行。そして、昭和18年（1943）5月27日に両市が合併し、現在の舞鶴市が誕生しました。さらに昭和32年（1957）には加佐町を編入し、市域が拡大しました。

総合文化会館で 5月18日、記念式典

市制施行70周年記念式典を5月18日（土）、総合文化会館で開催。

功績者表彰やイメージソングの披露などを予定しています。詳細は決まり次第、広報まいづるなどでお知らせします。